

平成 29 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	梅林児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市田端町1番地11		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,555,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:829.92㎡ ◇延床面積:514.44㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、多目的ルーム、事務室		

●利用状況

		H29下半年期	H29上半期	H28下半年期	H28上半期	H27下半年期
利用者数 (単位:人)	来館者数 (※うち放課後児童クラブ利用人数)	8,654	11,319	13,584 (1,305)	13,793 (1,639)	12,776 (1,938)
	移動児童館利用者数	763	665	939	673	744
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	23	18	17	15	19
	開館日数(単位:日)	151	157	151	157	151

※平成29年4月より、梅林児童館内にて開設していた放課後児童クラブが梅林小学校に移動した。

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①⑤計画通りに実施。 ②所長(正規職員)、正規職員1人、非常勤職員5人(うち非常勤休日対応職員1人)保育士は所長を含め4人。又、大学生非常勤職員1人。 ②おたより「メロディ」を毎月発行・配布、法人のホームページに掲載、ホームページの内容(写真・コメント)を館内に掲示。 ④常時ご意見箱を設置するとともに、利用者アンケートを実施し、問題の解決に努めている。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②日常清掃を毎日遂行。玩具については定期的な消毒と片づけ時の破損等の点検を実施。感染症流行時には衛生面の環境保持をさらに強化した。 ③節電の意識を持ちエアコン使用時は気温、室温をチェック表に記入し室温を適温にして使用した。冬期は床マットを敷いた。幼児や児童の工作においては、廃材の利用に取り組み、また不要となった玩具の提供の受け入れ、裏紙の使用を行うことで省エネルギーと管理費の縮減に努めた。 ④朝夕の施設外周の見回り点検を実施。秋季は落ち葉清掃を朝夕行い、近隣住民の不具合解消に貢献した。玩具については、片づけ時に職員が確認し、破損が発見された場合はおもちゃ病院に修理を依頼し、感染予防のため消毒をしっかりと行った。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した個所については速やかに職員が修繕を実施。 ②簡易な修繕については、児童館職員で行った。母親クラブ会員の協力を得た。 ③床修繕、樹木伐採を岐阜市に依頼し執行された。(建物の経年劣化、駐車スペースの確保を長期計画を踏まえ、修繕要望した事案)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③すべてにおいて、マニュアル等について実施。接遇や事故対応等の研修に参加し、報告会で伝達講習を行うほか、ヒアリハットの記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年3月 保護者(一般来館・クラブ参加)の203人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数203人(100%) 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年3月 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者数27人(小学:1年8人、2年7人、3年2人、4年4人、5年3人、6年1人、不明2人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 梅林(17%) 華陽(16%) 白山(15%) 長森南(10%) 長森西(9%) 長森北(6%) 厚見(6%) 徹明(3.5%) 市外(2.5%) その他(15%) 【性別】 男(1%) 女(99%) 【年齢】 10代(0%) 20代(14%) 30代(73%) 40代(10%) 50代以上(2%) 無記入(1%) 【利用頻度】 初めて(3%) ほぼ毎日(0%) 週2~3回(7%) 週1回(36%) 2週間に1回(42%) 月1回(6%) その他(6%) 【来館相手】 子・孫(92%) 友人(6%) その他(0.5%) 無記入(1.5%) 【来館方法】 徒歩(39%) 自転車(10%) 自家用車(40%) その他(11%) 【何で知った】 ホームページ(45%) 保健師さんから(36%) 広報紙・チラシ(3%) 学校(1.5%) 知人・友人(3%) 保育所・幼稚園(0.5%) その他(7%) 【評価】 (あいさつ).....満足(91%)、ほぼ満足(8%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい).....満足(92%)、ほぼ満足(7%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応).....満足(86%)、ほぼ満足(11%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ).....満足(55%)、ほぼ満足(25%)、普通(16%)、やや不満(4%)、不満(0%) (整理整頓).....満足(78%)、ほぼ満足(14%)、普通(6%)、やや不満(2%)、不満(0%) (清潔感).....満足(63%)、ほぼ満足(27%)、普通(10%)、やや不満(0%)、不満(0%) (換気).....満足(66%)、ほぼ満足(20%)、普通(14%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 【性別】 男(56%) 女(44%) 【学校名】 梅林小(52%) 白山小(10%) 梅林中(10%) 附属小(3%) 不明(5%) 【学年】 小学:1年(30%)、2年(26%)、3年(7%)、4年(15%)、5年(11%)、6年(4%)、 中学:1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)、高校:1年(0%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(0%)、毎日(3%)、週4・5回(8%)、週2・3回(8%)、週1回(44%)、その他(37%) 【来館相手】 ひとり(26%)、友人(59%)、父母(4%)、親戚(0%)、その他(11%) 【来館方法】 徒歩(19%)、自転車(48%)、自家用車(26%) 【好きな遊び】 卓球(25%)、サッカーゲーム(25%)、鬼ごっこ(12%)、けん玉(10%)、 ビリヤード(4%)、カロム(4%)、その他(18%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ○1歳にはクラブ時間が少し長いように思います。途中、眠くなっています。⇒月齢や体調により、途中での退室も構いません。お子さんの様子を見て参加して下さい。月齢により、体力面の差がありますので、少しずつ参加時間を延ばしていくと良いと思います。 ○クラブ中の保護者同士の私語が気になります。指導は難しいとおもいますが。⇒クラブ中は親子の貴重な時間ですので、我が子と1対1で向き合って頂けるように声掛けさせていただいていますが、保護者同士の交流時間を設定することなども伝えながらご理解を求めています。 ○音楽イベントを計画してほしい。⇒音楽会やリズム遊びを行事に取り入れられるよう検討します。 ○離乳食教室や寝かしつけのコツなどの育児講座をやって欲しい。⇒栄養士や先輩ママたちの話が聞ける講座を考えていきます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	B	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	S	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価			A	
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>○幼児クラブは年齢、発達に応じた活動内容を行い、保護者が子どもの姿に向き合い、姿の変化や成長に気づけるような言葉かけを意図的に行った。アンケートにも「楽しかった」「成長を感じる事が出来た」と満足が感じられる意見が記入されていた。活動内容だけでなく、職員に対する感謝の言葉も多々頂いた。第一に職員が一人一人の子どもの姿を見守り、共に成長を喜ぶこと、保護者の気持ちに寄り添い保護者の姿を認めることを支援活動の基としてきたことが満足度の高さに繋がったと感じる。</p> <p>○要支援児童は継続的に利用していたが、施設修繕に伴い利用の仕方に制限がされたことから来館が若干少なくなった。館外での過ごし方を会話から知ることもあり、児童が安心安全に過ごしているか、利用時の姿、学校での姿などを継続的に情報交換し、新年度良い形で進級できるように相互にサポートしてきた。</p> <p>○施設修繕工事で駐車スペースがなくなり車での来館を制限した。公共交通機関や巡回バスの利用の方法をお知らせし、不自由をかけることにお詫びを伝え、幼児、児童がお互いにゆずり合って利用していただけるようお願いしながらの運営をした。幼児、児童ともに利用数の減少があった。車の利用ができない中、幼児クラブは定員数程度の参加があったが、それ以外は極少数の利用となった。児童は冬期で帰宅指導の時間が早い事、幼児と一緒に過ごすことでダイナミックに活動して遊べないことが利用数減の理由と考えられる。</p> <p>一方、日頃は幼児と児童の利用スペースを分けていることから、今だから一緒に過ごせるということで利用される方もあった。、利用の保護者も一緒に来館児童を見守ったりと不自由な反面、利用者がお互いに思いやりを持った過ごし方をするなどの良い状況が生み出されることになった。</p> <p>○季節や車来館制限のため来館数が減ることを予想し、今後取り組んでいきたい活動行事を試行した。参加者に感想や今後の要望などを詳細に聞く機会とした。参加者が少ない為、皆で座談形式でアットホームな会となり十分に意見交換ができた。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>○利用人数を踏まえた職員配置をし移動児童館に出向く機会を増やすことが出来た。地域に積極的に広報したことが依頼につながった。休館日や土日祝日の移動児童館の実施は困難もあつたができる限り対応した。児童館の活動提供に期待があることも感じた。</p> <p>○資格を持った職員配置や館内研修を行い幼児クラブの内容の充実を図ることができた。</p> <p>○学校や地域との連携を継続的に行っていることで、児童館運営の理解を得ている。各運営委員会や地域行事へも継続参加している。児童の指導について継続的に連携を取っている。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○幼児クラブはこれまでと同様に発達に合わせたプログラム内容とし、保護者の満足に応じていきたい。その中で「一番重要なのは子どもと向き合い、姿を認める」という子育ての基本部分を伝えることを支援活動の軸としていきたいと考える。</p> <p>○要支援児童は保護者、学校、地域の民生主任児童委員と連携を取り継続的に見守り、学校や社会の中で孤立してしまわないように指導していきたい。</p> <p>○地域の中の施設として様々な年齢の方に児童館事業をご理解いただけるよう、ボランティアとしての人材を発掘したい。卓球指導や幼児の保護者対象の講座の講師を招き活動内容の充実を図りたい。</p> <p>○地域の中で児童館を力として認めて頂いていることを発揮する機会として、「かしもり灯フェスタ」「梅祭り」に取り組む。今後も地域の方と「共に」事業を継続していきたい。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月、乳幼児用と児童用の「おたより」を作成して配布したほか、ホームページに児童館での活動の様子を毎月新着情報としてアップし、写真やコメントを多用するなど工夫した。</p> <p>○新規事業として子育て中の保護者を対象に「離乳食講座」や「健康講座」を開催した。また、地元の小・中学校、自治会連合会、老人クラブ等の会議や行事への参加や「Gツインズ」への遊びの提供・活動補助など地元との連携・交流を通じ、児童館活動に対する理解が深まるよう努めた。</p> <p>○移動児童館は上半期18回、下半期23回の計41回開催し、目標数値の24回／年を大きく達成しており評価したい。</p> <p>○台風の影響や降雪が続いたが、所管課との連絡調整による閉館・休館等の適切な対応と、利用者や学校への事前通知など自発的な安全対策により、利用者の安全を確保し、事故無く管理運営を行ったことを評価したい。</p> <p>○有資格者を多く配置しており、十分な人材・人員が確保されている点は高く評価でき、経営状況についても問題なく運営されている。</p>

●指定管理者評価委員会の意見

<p>大規模な工事によって運営出来ないことがある中でも、できることについては誠実にやっていた点の評価したい。当期については、工事によって利用者が減少しているが、館の運営には不可抗力と考えるため、効果性⑥「利用促進、利用者増の方策」の評価をA評価とする。</p> <p>管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
--